

(別添2)

【那覇市】
ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

令和6年12月に実施した独自調査（簡易帯域測定）の結果、文部科学省が令和6年4月に示した「学校規模ごとの当面の推奨帯域」を満たした学校数は13校であり、総学校数に占める割合は24.5%であった。

（簡易帯域測定方法）

各学校において、端末から帯域測定サイトにアクセスし、通信速度を測定。測定は授業開始前（6時頃）および授業終了後（21時頃）に1週間程度実施し、その期間で1回でも最高値が推奨帯域を上回った場合、「推奨帯域を満たしている」と判断した。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

令和6年12月から令和7年3月末にかけ、各学校のネットワークアセスメントを実施中である。

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

ネットワークアセスメントの結果を踏まえ特定した課題に対し、順次解決策の具体的な検討と対策の実施に着手し、令和8年7月末までに対象校における改善を完了させる予定である。

（3）ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

回線速度については、現在契約中の1Gbpsベストエフォート回線において、学校所在地域の回線利用率に影響を受ける学校が存在することを確認している。これを踏まえ、令和7年度以降のネットワーク改善に向け検討を進め、必要かつ安定したネットワーク速度の確保に取り組む。